

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年6月4日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2024年6月3日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	カリフォルニア州立大学ドミンゲスヒルズ校(日本語名) California State University Dominguez Hills (現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語 / 英語
留学期間	2023年8月～2024年6月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名:ジャーナリズム 現地言語での名称:Journalism <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input checked="" type="checkbox"/> その他:学部自体はありますが、ほかは履修できないということはなく、自由に授業を履修できました。
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期:8 月下旬～12 月上旬 2 学期:1 月下旬～5 月中旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	約 14000 人
創立年	1960 年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (アメリカドル)	日本円	備考
授業料	0	0 円	交換留学
宿舍費	\$9676	約 1,403,000 円	冬休みの寮費は無料。春学期後は一日ステイすると 50ドルかかるので注意。
食費	\$1500	約 220,000 円	学校側が食料品を配給してくれるシステムがあり、週に一度野菜や炭水化物も含む食材を無料でもらうことができる。
図書費		円	全て学校側からの「サービス費用」に計上されていて分からないのでその他にまとめて記載。
学用品費	\$20	約 3000 円	日本からノートなどの用品は持って行った
携帯・インターネット費	\$120	約 18,000 円	ソフトバンクのアメリカ放題で日本の形態を使用。一度アメリカでスマホを壊し購入。(SIMは無事)
現地交通費	0	0 円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	約 1,500	約 225,000 円	ケンタッキー州の友人に会いに行く…etc.
被服費	\$90	約 13,500 円	
医療費	0	0 円	
保険費	約\$3000 円	約 30 万円	形態: CSUDH の保険+明治での保険
渡航旅費	約\$2137	334,000 円	
ビザ申請費	\$185	約 26,000 円	
雑費	約\$500	約 70,000 円	
その他	\$762	約 112,000 円	秋学期に学校関連で使ったお金がすべてまとめられてこの金額。(教科書など含む)
その他		円	
合計	約\$19,490	約 2,724,500 円	(約とある場合は曖昧)

渡航関連

渡航経路
往路 出発地: 関西国際空港 目的地: ロサンゼルス国際空港 経由地:
復路 出発地: ロサンゼルス国際空港 目的地: 関西国際空港 経由地:
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: JAL 料金: 334,270 円
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: JAL公式サイト) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舍等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: V5) <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数2人、同じアパート自体に6人住んでいる)
3) 共有部分
<input type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
学校ホームページ
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
ドミンゲスヒルズにはアパートとレジデンスホールの二種類の寮があります。アパートはプライバシーはあり、自炊が可能です。レジデンスホールは、1年生が多いこともあり問題が頻発したり、四人部屋になると全くプライバシーはないと言ってもいいと思います。ただ、同じ大きな建物に多くの学生が住んでいるので、夜友人と共有スペースで遊んだり、友人を作るには最適かもしれません。お風呂が各部屋についていないのはかなりきついと思いますが。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: Student Health Center)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: スマートフォンが壊れた: 現地の友人, 一緒に買いに行ってくれた。)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

現地の友人ができれば色々教えてくれます。ドミンゲスヒルズ周辺はあまりいい地域ではないので、気を付けた方がいいと思います。キャンパス内はいつも警察がいるので安全だと思います。ちなみに、隣の市であるコンプトンは昔、危険な地域として映画の題材になったくらいの場所なので、キャンパスからでも時々銃声が聞こえたりしますが、キャンパス内にいれば基本安全なのと、ギャングの抗争関連が多いようなので、気にしすぎない方がいいと思います。(気にする方はドミンゲスヒルズはおすすめしません。)

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

アパートは部屋ごとにWiFiがあります。レジデンスホールは学校のWiFiが使えます。キャンパスでは全域に、ドミンゲスのスチューデントメールを持っていけば使えるWiFiがあるので、困ることはありませんでした。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

私は現地の銀行は開設せず、日本のクレジットカードを使っていました。そのカードと連携している日本の口座に親から仕送りをしてもらっていました。今思うと現地の銀行口座を持って「Zell」というアプリを持っていけば、割り勘など楽だったかもしれないと思います。日本のクレジットカードは三枚持っていました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

湿布を持って行った方がいいと思います。日本の市販の薬で持っているものがあれば持って行った方がいいと思います。これは現地で買えないものではないのですが、ゲームが好きな人であれば、SwitchやX boxなどゲーム機を持って行った方がいいと思います。想像以上に流行っているの、寮暮らし勢は夜集まってスマッシュブラザーズやマリオカートをやっている。私の場合、ゲームを通して仲良くなった友人も多かったの、ゲーム好きはとりあえず持って行っていいのではないのでしょうか。(私はSwitchを現地購入しましたが、とても高かったので買うなら日本が良いと思います。)

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
27 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他(授業が始まってからも授業の追加ができますが、教授にパスワードをもらう必要があります。) <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった: 授業により、別のクラスをすでに取っている人しか履修できないクラスもあるのでシラバス要チェックです。	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Media&Society	メディアと社会
科目設置学部・研究科	communication
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が1回
担当教授	Jennifer Peters, Ed. S
授業内容	どのようにメディアは進化してきたのか、テレビ、新聞などの媒体に分けて毎週講義がありました。
試験・課題等	週に一度、授業内容に沿ったディスカッションにコメントする課題がある。 Midterm と Final の二回大きなテストがある。
感想を自由記入	比較的大人数クラスでした。クラス内に友人もいたので他と比べて授業が楽でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Understand Global Social Relations	世界と社会のかかわりを理解する
科目設置学部・研究科	Sociology
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Dr. Adam G. Sanford
授業内容	社会学者の考え方や、それがどのように社会を変えたのか。具体的にどのくらいの年収の人がカリフォルニアでどのような暮らしができるのかディスカッションをしたりしました。
試験・課題等	テストではなく、ペーパー課題が中心でした。いくつかバンドルがあり、規定以上こなしたら単位がもらえる仕組みのようでした。
感想を自由記入	本当に難しかったです。アメリカの社会学者は全く聞いたことがなかったのと、毎回グループに分けられて、ディスカッション。そのディスカッション内容を提出しなければならなかったため、内容によっては周りの人に助けを求めてもそれでもまだ分からないこともありました。しかし、アメリカの社会や年収について多くの学びがあったと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
The Individual In Society	社会の中の個人
科目設置学部・研究科	Sociology
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Levi Didley II, M.A
授業内容	アメリカ国内での黒人、女性、白人、などのカテゴライズされた人々の「イメージ」、偏見、それによって影響される個人の行動などについて勉強しました。
試験・課題等	midterm, final 含めて5回のテストがありました。すべて授業・教科書に基づいたものでした。教科書は購入しなくても図書館で借りて、ページの写真を撮って使っていました。(教科書購入するととても高額)月に二度ほど、教科書のリーディングに合わせたペーパーの課題がありました。
感想を自由記入	教授がとても親切な方で、直接相談しに行かずとも、困っていると声をかけてくださっていました。課題は少し難しい部分もあったのですが、教授のサポートもあって何とか提出できていました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Beginning Japanese II	初級日本語II
科目設置学部・研究科	Japanese
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Sachi Johnston 先生
授業内容	Student Assistant のような形で、履修者の日本語学習のサポートをしたり、文化を教えたりしていました。
試験・課題等	試験はなく、日本の文化や学校に関するプレゼンテーションが学期中に二回。毎週授業のフィードバックを書く課題がありました。
感想を自由記入	このクラスの生徒とは授業だけでなく、どこかに出かけたりする友人になることができました。この授業を通して、日本語の良さ、難しさを感じることができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Digital Media Production (COM110/111)	デジタルメディアプロダクション入門
科目設置学部・研究科	Communication
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	110は講義, 111は実習(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Dr. Paul Fornelli
授業内容	COM110/111は二つの授業を同時に取ることが requirement になっていました。110では主に講義。どのように映画や動画が撮影されているのかの説明。実際に撮影に挑むときに注意すべきことの説明がありました。COM111ではCOM110の説明を聞いて実際にグループを組んで、ショートビデオや録音をしてそれを編集・提出することが求められました。グループで、役割担当を決めたり、撮影日のスケジュール調整をしたり、グループで動くことが基本でした。そのため、撮影日・編集時間ということで、授業後半COM111の時間はグループで独自に動いていい時間になることも多かったです。
試験・課題等	レクチャーに沿った内容で midterm, final の二回クイズがありました。課題は、撮影・録音・編集したものの提出、グループの役割表などの提出がありました。
感想を自由記入	COM110で説明・解説、111で実際に活動という形でした。聞いただけでは違い実際に撮影・編集を行うのでとても勉強になりました。この授業でも、グループ内の生徒ととても仲良くなることができました。中には春学期まで付き合いのある人もできました。ただ、グループによっては、一人とても編集技術二秀でた人が居たりと、グループによって活動の仕方は全然違ったように思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Culture, Gender and Strategic Communication (COM350)	文化・ジェンダー・戦略的コミュニケーション
科目設置学部・研究科	Communication
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Larry R. Hygh, Jr., Ed.D
授業内容	CMIについての講義。その中で、どのように文化的な偏見や性差別がCMの中で使われてきたのか。近年はどのようにそれを排除する取り組みが行われているか。また、年齢層や性別、国や場所によってどのようにマーケティング方法が変わるかについての講義。
試験・課題等	ミニオンラインクイズが4つ。ペーパーアサインメントが三つ、チームで自分自身のアドバタイズメントを作り、それをクラス内でプレゼンすることがFinalとして課されました。
感想を自由記入	教授が明るい人で、少人数クラスだったこともあり、授業に関するコメントを求められることが多々ありました。秋学期だったら取っていなかった授業だと思います。しかし、だからこそ、授業内の生徒はみんな仲が良く、雰囲気の良いクラスでした。プレゼンに関して、オーディエンスをDHの生徒として明治大学の交換留学制度を紹介するadvertisementを作りました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Hlstory of United States	アメリカ史
科目設置学部・研究科	History
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Dr. Kate Fawver
授業内容	アメリカ大陸にヨーロッパの人々が入植してきてから、奴隷や独立の歴史を勉強しました。ひとつの出来事に着目するのではなく、どのように歴史が動いていったのかの大まかな流れの講義でした。
試験・課題等	大きなクイズが5回ありました。すべて授業内容とrequired readingからの出題でした。提出物はなく、5回のクイズのための練習版クイズをやった方がいいよ、という形になっていました。
感想を自由記入	一番の大人数クラスでした。朝だったので、眠くなるころですが、教授の声が多すぎて、飛び起きていました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
World History II	世界史 II
科目設置学部・研究科	History
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Dr. Liam O' Mara IV
授業内容	1500年代くらい以降の世界史についてでした。毎回教授が module にポストした PDF を表示して、それについて解説するという形の授業でした。
試験・課題等	課題・試験等とても多かったです。週に二度、reading した後にそれについて journal を書く課題があり、midterm, final の二度大きなペーパー提出、さらに midterm と final でテストもありました。救いとしては、課題が多いので、これは絶対に無理だ、とおもったものは諦めても C グレードは取ることができると思うので、パスしたいのなら戦略的撤退時には必要な授業でした。
感想を自由記入	本当に難しかったです。日本で日本史選択だったこともあり、全く知識がなく、日本の歴史については少し触れられただけでヨーロッパ史が中心だったので、reading を読んでも訳が分からなかったり、長すぎる上に英語が古い感じで読めなかったりとても苦労しました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Digital Toolkit (COM106/107)	デジタルツールキット
科目設置学部・研究科	Communication
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	COM106 は講義、COM107 は実習(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Dr. Cathy Risling
授業内容	PowerPoint, Excel, PhotoShop, WordPress など、現在様々な業界で使われているデジタルツールの使い方の説明、どのような使い方をしているのか解説でした。また、どのように仕事にアプライするのか、メールの出し方、レジユメの書き方も授業内で扱われました。
試験・課題等	授業内で扱ったアプリ、ツールの使い方についてのテストがありました。その他の解説は COM107 で実際に自分でそのアプリを使って作品を製作するためになされていました。週に一度から二度、何らかのアプリを使って制作した課題の提出が求められました。
感想を自由記入	とてもためになる講義でした。解説されたことをすぐに実習で使える。それによりショートカットキーや、実際に使い方が覚えることができました。先生以外でもこれはどうやるのか、など友人に助けを求めたりして、自身で何とか作業をこなすことができました。課題を提出した後、どういった部分をどのようにして改善できるのか、かなりすぐに先生からのフィードバックがもらえたので、本当にためになりました。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

高校のころから大学院まで行こうと決めていました。現在もアメリカの大学院卒の youtuber の動画、インターネット上のサイトから情報を探しています。

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

海外で就職したいと考えています。アメリカの場合一年間 OPT があるので、大学院卒業後就活ができればよいと思っています。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

元々進学希望だったので何も言えないです。すみません。ただ、私の場合、高校時代から親に大学院進学のことを話していたので、進学希望なら親に相談するのは早ければ早いほど良いと思います。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

現在まだ考えているところですが、CSU(カリフォルニア州立大学)のうちのどこかであれば良いなと思っています。ドミンゲスヒルズはコミュニケーションのマスタープログラムがないので別のところになると思います。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

私もまだ何か具体的にやっている訳ではないのですが、多くの人に「大学院に行きたいと思っている」と話すといいと思います。多くの方が情報をくれます。また、行きたいと思っている大学に関してチェックしたり、海外に行きたいのであれば、大学在学中に留学に行くのはとてもいいと思います。国によって何が必要になってくるかも違うので、それも調べておくと良いと思います。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	パスポート更新
	8月～9月	TOEFL 受験
	10月～12月	交換留学アプリケーションの準備、面接、選考
留学開始年	1月～3月	留学ガイダンスはじめ、留学先大学とコンタクトはじめ
	4月～7月	留学先大学書類、ビザ申請、滞在先の確保
	8月～9月	航空券購入、履修登録(この後変更可)、渡航、ガイダンス、予防接種(確認されず)
	10月～12月	10月末中間試験学期はじめ、12月上旬期末試験
留学/帰国年	1月～3月	春学期はじめ、帰国便の変更・購入
	4月～7月	4月上旬中間試験、5月中旬期末試験、6月帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

この大学を選んだ理由は、ジャーナリズムのデパートメントがあったからというのが一番大きな理由でした。そのほかには、自身がセクシュアルマイノリティーなので、アメリカだったらレッドステートは避けたいと思ったこと、昔からハリウッド映画が好きだったので単純なあこがれもあり、LA Countyにあるドミンゲスヒルズを第一志望にしました。

ドミンゲスヒルズはほかのCSUに比べて小さい大学なので、コミュニティーを築きやすく、一度友達になった人とすれ違ったりすることも多々あって、友人を作りやすいと思います。

ただ、クラスの生徒と深い友人になることは難しいので、(みんなかなり授業が終わるとすぐ帰るため)学校内にある多くのクラブに遊びに行くといいと思います。

アメリカ人の友人と話したところ、最初の一週間二週間が勝負なようで(日本の高校と少し似てる)、最初みんなが居場所や友人を探している間にいろんな場所やクラブに行き気合う仲間を見つけるのが良いと思います。そこであった友人はかなり深い仲になれると思います。(私の場合、最初の二週間であった友人とずっと仲良くしていました。)正直に言うと、授業で「アメリカの社会は～、文化は～」と勉強するよりも、実際に多くの友人の家に遊びに行く方が絶対勉強になると思うので、留学の初めは、授業よりコミュニティー作りを優先してもいいかと思います。授業は、教授に留學生であることを伝えておいた方が良くと思います。パソコンを使うラボの授業を履修していた際、自分のパソコンが日本語設定になっていたことがネックになったりもしたので、先生にすぐに相談できるようにしておいた方がいいです。

ドミンゲスには、日本から4年間留学に行っている友人もいたので、もしドミンゲスに行くことになったら助けてくれると思います。International 関連のイベントが秋学期初めに多く開催されているので、そこでほかの international の友人とも出会うことができると思います。日本人と全く関わらない、というのも良いとは思いますが、個人的には困ったときに助けてくれる日本人や留學生仲間も一定の距離は保ちながらいた方が良いのではと思います。特に、帰国時のパッキングからの動きは同じ留學生同士助け合わないとかなり日程的にきついです。

ドミンゲスは立地的に、車がないとどうしようもないので、車を持っている友人を持つことをお勧めします。一番近くのTarget(スーパー)でも徒歩30分から40分ほどかかります。バスもありますが、あまり安全ではないのと、予告もなくキャンセルされていることもあるのであまりお勧めしません。

ドミンゲスヒルズ自体の立地が安全なエリアとは言えないので、キャンパスから出る際は注意してください。たまに銃声とかも聞こえるので。とはいえ、そういった立地だからこそ「綺麗なLA」だけではない部分も深く知れると思います。

私の場合、ルームメイトとはほとんど話さなかったのですが、ルームメイトと仲良くなれるかは運次第といった感じだと思います。みんながルームメイトと仲良くなるわけではないのと、一緒に住む家族みたいな感じと想像していましたが、アメリカでは同じところに住んでいようが個人は個人、という価値観を持っているようでした。

支払いはほとんどクレジットカードで行います。友人で、クレジットカードを一枚しか持ってこず、それをなくしてしまった人がいて、かなり困っていたのでクレジットカードは何枚か持っておくといいと思います。

怪我をしたときは Student Health Center に行ってみてください。私は一度階段から落ちて足を捻挫した時に行ったのですが、無料で診察・レントゲンを撮ってもらえたので、病気になった時はとりあえず Student Health Center に行き、それでも解決しなかった場合ほかの病院に行くといいと思います。

私は、滞在中にスマホを壊してしまって、現地でかなり安いものを買って替えたのですが(SIM カードは無事)、かなり使い勝手が悪かったので、現地の格安のスマホはおすすめしません。

現地に着く前は手続きが分からないとかいろいろあるかもしれませんが、ついてしまえばたいい何とかなります。本当に絶対に提出しなければいけない書類はきちんとそろえて、ほかの諸々に関しては大体はどうとでもなるので、心配するよりも体調管理をしっかりしておくことをお勧めします。

これを読んでいる皆さんは、きっと私の何十倍も準備をきちんとしていると思うので、何も心配はいりません。人生何とかなります。留学生活存分に楽しんでください！